# 支部だより

## 東京都西東京支部

### 元角昌三支部長 ラジオ出演

西東京支部元角昌三支部長が三月十七日（水）十三時から十三時三十分『FM西東京限』のメイン番組「元気がつながる～ウエストビズ」に出演、人気パーソナリティ長谷さおりさんと元角支部長との対談が行われました。

FM西東京は本局のある西東京を中心に東京多摩地区で広く聴取できるほか、スマホ、パソコンで全国で聞くことができ、また、YOUTUBEで動画配信もされています。番組の内容は「一般社団法人日本善行会」が設立八十四年を迎えた由緒ある会であること、そして善行会全般についての話しや西東京支部の設立経緯、全国から長年善行を重ねられた方々をお招きしての明治神宮参集殿においての春・秋の善行表彰及び秋篠宮様の「皇嗣殿下ご接見」の説明、昨年十二月東久留米市立西中学校音楽部への善行表彰状贈呈式の報告、今後の抱負などについての楽しい三十分でした。放送後多くの方々から「放送を聞いたよ」との連絡をいただきました。

## 東京都新宿支部

### AED搭載車で社会貢献に！

支部長　前田　哲也

公共施設や人が集まる場所には人命救助の為のAEDが目立つように置かれている今日、社会貢献で自家用車に設置して一般人初『AED搭載車』として運用する事になりました。永年の愛車トヨタ・マークXが車検から帰って来て準備を始めました。本体はトランクに積み込み固定しました。この事は繰り返し検討を重ね、年齢的にもこの時期にやらないと出来なくなってしまう気もして決断しました。心肺蘇生法の訓練はしっかりと継続しているので更なる上を考えた訳であります。後部にAED搭載ステッカーを貼る事になるのでちょっと照れ臭いですが目立ちます。これで通常時やドライブ中でも、声をかけて頂ければ直ぐに人命救助の対応が出来る事になります。

また運転中に災害等で他人を救出する事になった時の為にも軍手・ゴーグル・ロープ・ヘルメット…ジャッキ等も直ぐに出せるように準備をしています。車用のアマチュア無線も接続して防災通信訓練も毎月行いいつの間にか民間レスキューカーになっています。いつの日か人様のお役に直接立てるように社会貢献を続けて行きたいと思っています。応援よろしくお願いいたします。

## 訃報

去る三月十五日、日本善行会元理事・元広島市支部長の下岡正行氏（九十八歳）がご逝去されました。

下岡氏は、平成十一年に善行章を受賞し、平成二十五年に善行金章を受賞しました。平成十五年に広島市支部が創設され、設立当初から支部長として、会員増強と支部運営に尽力しました。

更に、平成二十年から二十四年まで日本善行会理事として、本会の発展に多大の貢献をされました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## ふる里自慢

### 東京都板橋支部

支部長　平岩　宏子

板橋支部がある板橋区は、東京北西部に位置し、人口は約五十七万人です。

「板橋」という地名は、桜の名所として知られる石神井川に架けられた板の橋に由来すると伝えられています。

板橋は、東京の北の玄関口とも言われ、江戸時代五街道の一つ中仙道の板橋宿（上宿、中宿、平尾宿）を分岐点とした川越街道が通り、宿場町を中心に人々が集い栄え、商業、農業、工業と各産業が発展し現在に至っています。中仙道沿いに「志村一里塚」があり、日本橋から一里（約四キロメートル）毎に建てられた三箇所目の塚です。板橋地域を含む武蔵野は、庭木としてけやきが多く植林され、川越道中にも「五本けやき」と言う有名な道標があり、かつて旅人達が「これより江戸に入った」と喜んだとか・・・。

他にも多く史跡、旧跡があり、武蔵野の面影を今に残す赤塚、徳丸、成増地域の郷土芸能や自然景観は、板橋の長い歴史の誇りでもあり、緑と文化の街と調和しつつ自然と歴史の散策も設定されています。

春一番、「板橋CITYマラソン」が開催されます。区内外から一万五千人を超える参加ランナーが、早春の荒川の土手を走りぬけ、健康で明るい豊かな生活を目標に板橋区と関係団体の協働による賑わいを創出し、完走率九十六％超と参加者数全国トップを誇り自然豊かな板橋の魅力を海外にも発信しています。

夏の風物詩として、「いたばし花火大会」が八月上旬に荒川を挟んで埼玉県戸田市と同時に開催され東京最大の一尺五寸玉と尺玉を含む一万発以上が打ち上げられ、夜空を彩る大輪と共に、お腹に響く音も花火の醍醐味です。〝ギネスブック〟に載った「ナイヤガラの滝」は必見です。階段状に整備された荒川の土手は花火観覧に最適で五十万人超えの見物客で賑わいます。

秋は、「区民まつり」が東上線大山駅周辺で二日間行われ、老若男女四十万人超えの来場者がパレードや踊り、御神輿、物産店等交流広場では世代を超えた楽しいふれあいのまつりとなっています。

観光事業、スポーツや文化にも力を入れ、加賀という地名（江戸時代、加賀藩があったことが由来）があり、石川県金沢市と交流、海外では、絵本展でイタリアのボローニア市と二〇〇五年以来国際交流、カナダバーリントン市とも長年の交流を育んでいて、板橋区庁舎正面口前に大きくてステキなカナダ時計が時を刻んでおります。教育面では、令和三年春に区立小中学校の全児童、生徒へパソコンが配布されデジタル化教育へ大きな一歩を踏み出しました。

板橋に住んでいる人々が育んでいる緑と文化を継承し、善意による安心・安全なより良い環境作りが新しい時代に調和している街です。

今まで住んできて良かったと、これからも次世代の人々が住み続けていきたいと思う街「板橋」の四季折々をご紹介し、ふるさと自慢といたします。

最後になりましたが、新型コロナウイルスが世界中に拡大し、国内では、緊急事態宣言が出され、大変な日々が続く一年となりました。一刻も早いコロナの終息を祈りつつ、心豊かな会員の皆様にも活力を取り戻せる日が訪れることを願ってやみません。